

COMET

BM-400

取扱説明書

ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見
られるところに保管してください。



はじめに

このたびは BM-400 をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
なお、ご使用になる前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、注意事項や使用方法
を十分ご理解いただいた上でご活用ください。

付属品

●CR-シンクロコード5m(ストレート)	1
●ハロゲンランプ(24V-20W)	1
●TW-Cリフレクター	1
●LB電池用充電アダプター	1
●取扱説明書(本書) ●保証書 ●ご愛用者登録カード	

目次

1. 安全のため特にご注意ください	1 ~ 3
2. 使用上の注意とお願い	3
3. 各部の名称とはたらき	4 ~ 5
4. 操作手順	6 ~ 7
5. 出力バリエーター	8
6. サウンドモード	8
7. フォトセル	9
8. 不発光警報	9
9. 充電器／ニッケル水素電池	10 ~ 14
10. 電池の残量表示	15
11. 保証とアフターサービス	16
12. 仕様	17

1 安全のため特にご注意ください

- ご使用の前に、この説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、この機器を使い人への危害、または物的損害を未然に防止するための注意です。
- 注意事項は危害や損害の大きさと切迫の度合いを明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、「危険」「警告」「注意」の3つに区分しています。

いずれも機器を安全にお使いいただくために重要な内容ですので、必ず守ってください。

危険：人が死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容。

警告：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。

注意：人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。

絵表示の意味



△記号は、危険・警告・注意を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な禁止内容（左図は感電注意）を示しています。



○記号は、禁止行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図は分解禁止）を示しています。



●記号は、具体的な指示内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図はプラグをコンセントから抜いてください）を示しています。

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

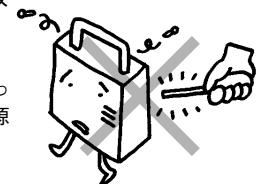


警 告



- 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないでください。

電源部は、メインスイッチを切り ACコードをコンセントから抜いた後も、内部には長時間高電圧が残つており、感電の恐れがあります。また、発光部も電源部へ接続した状態では高電圧がかかっており危険です。十分注意をしてください。



- 水に濡れる場所や湿度の高い場所での使用、また手足が濡れた状態や素足での操作はしないでください。

漏電による感電の恐れがあります。



- 使用中のヘッドに水滴などがかからないようにしてください。

使用中のヘッドはキセノン管、モデリングランプが高温になっています。水滴などがかかるとガラスが破裂する恐れがあり、大変危険です。取扱いには十分注意をしてください。



- 発光部は発光時、高温の熱を発します。人体に向けて近い位置で発光させたり、可燃物に向けての使用は絶対にしないでください。

火傷や火災の恐れがあります。



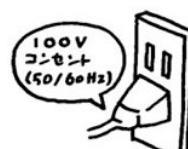
- 揮発性のガソリン、シンナー、可燃性ガスなどを使用している場所や、大量の粉塵が舞っている室内などでは絶対に使用しないでください。

爆発、火災、火傷の恐れがあります。



- 使用電圧はAC100～200/200～240V
(50/60Hz)です。(充電器LB用)

異なる電圧で使用すると感電、発火、火災の原因となります。



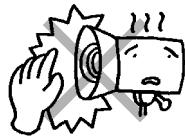
- ACコードプラグやヘッドコードプラグを着脱する時は必ず電源部のメインスイッチ、モデリングランプスイッチを切ってください。

急激に大電流が流れ、ショートによる火傷、発火の恐れがあります。

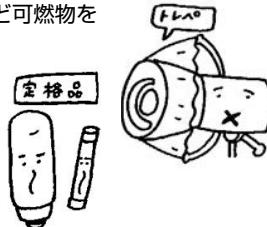
! 注 意



- 使用中や使用直後のヘッドは、かなりの高温になっています。十分温度が下がってから取り扱ってください。
火傷の恐れがあります。



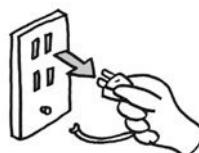
- ヘッド使用中は、紙や布または樹脂系のシートなど可燃物を近づけたり、覆っての使用はしないでください。
使用中はかなりの高温となり発火、火災の恐れがあります。



- 落としたり衝撃が加わったときは、直ちに使用を中止し、弊社、またはご購入店で点検を受けてください。
外観的な変形がなくても内部の電子部品などの損傷で、感電や漏電の恐れがあります。コードの被覆損傷のときも同様に点検を受けてください。

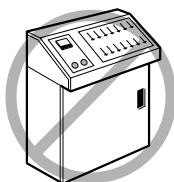


- 使用後は安全のために必ずACコードをコンセントから抜き取ってください。



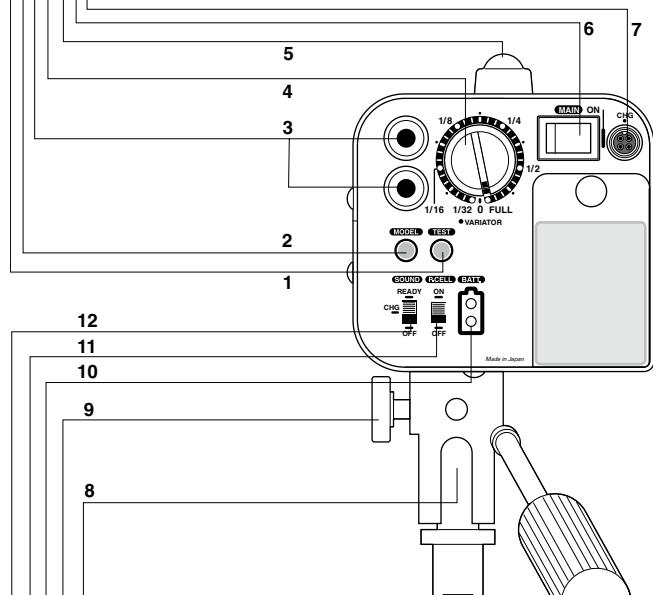
2 使用上のご注意とお願い

- 調光器に接続しての使用はしないでください。本機および調光器を破損する恐れがあります。
- ストロボ電源部は使用しないときでも1カ月に1~2度は必ず出力をFULLにして通電をしてください。特に3カ月以上の長期にわたって使用しなかったときは、出力をFULLにして最低4時間通電してください。この間は絶対に発光させないでください。長期間使用にならなかったストロボ電源部は、そのまま発光をくり返すとコンデンサーが発熱して破損することがあります。
- 赤外シンクロ装置(当社製)の受信機は、室内の蛍光灯から離れた場所にセットしてください。蛍光管から出る赤外線により、誤動作を起こすことがあります。
- 複数台のストロボ電源部を赤外シンクロ装置(当社製)で使用するときは、それぞれのストロボ電源部に受信器をセットしてください。



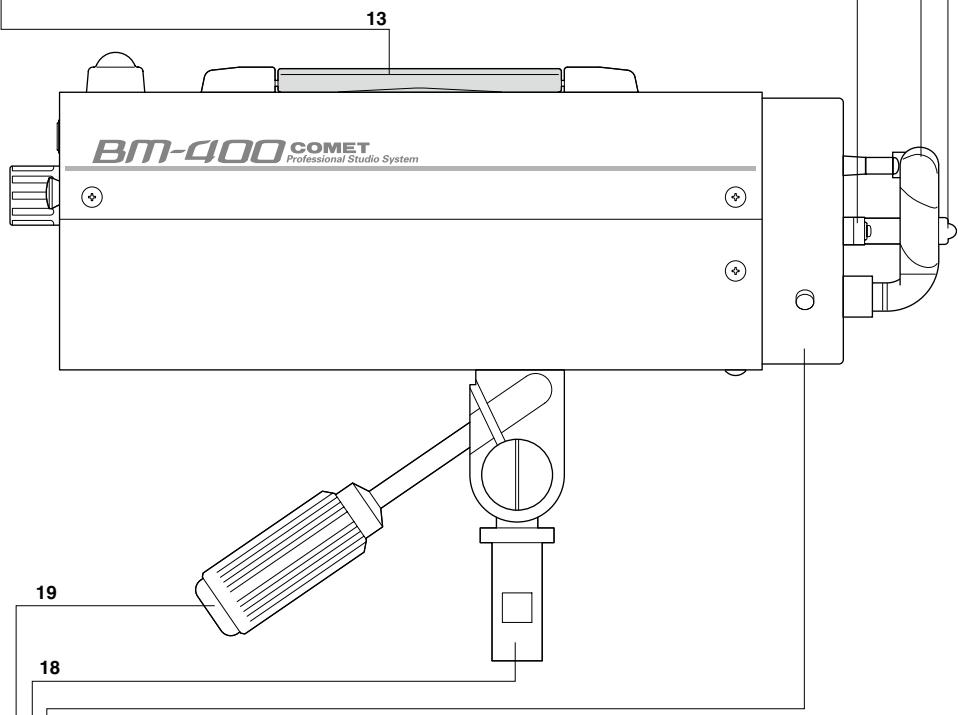
3 各部の名称とはたらき

名称	はたらき	参照頁
1 テスト発光スイッチ(TEST)	スイッチを軽く押すと発光します。	7
2 モデリングランプスイッチ(MODEL)	軽く押すとモデリングランプが点灯します。指をはなすと約6秒間点灯後、消灯します。	
3 シンクロソケット	付属のホーンジャックタイプのシンクロコードでカメラと接続します。	6
4 出力バリエーター(VARIATOR)	出力をFULLから1/32まで1/6EVステップで調光します。	7・8
5 フォトセル/充電完了ランプ	他のストロボ光を受けて同調発光させるための受光部と充電完了ランプを兼ねています。	9
6 メインスイッチ(MAIN)	電源スイッチです。使用後は必ず「OFF」にしてください。	6
7 電池充電コネクター(CHG)	充電器(NHC-2420)を接続するコネクターです。	10



名称	はたらき	参照頁
8 アンブレラ取付穴	アンブレラ使用時は、この穴にアンブレラ軸を通します。	
9 アンブレラ固定ネジ	アンブレラ軸を締め付け、固定します。	
10 バッテリーインジケータ(BATT.)	電池のおおよその残量を表示します。	15
11 フォトセルスイッチ(PCELL)	他のストロボ光を受けて同調発光させるとき「ON」にします。	9
12 サウンドモードスイッチ(SOUND)	「充電完了音(READY)」「充電中音(CHG)」または「OFF」にします。	8

名称	はたらき
13 把手	
14 モデリングランプソケット	24V20Wのハロゲンランプが使用できます。
15 キセノンランプ	ストロボの発光管です。使用中、直後はかなりの高温になります。絶対に手を触れないでください。
16 モデリングランプ	24V20Wの定格を必ず、お守りください。



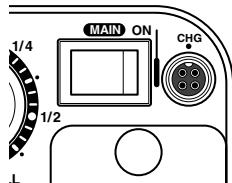
名称	はたらき
17 リフレクター取付口	CXタイプリフレクター類を取り付けられます。
18 ダボ(17φ)	スタンドやパンタグラフに結合します。
19 パン棒	雲台を操作するハンドルです。

4 操作手順

■ 1. メインスイッチの確認

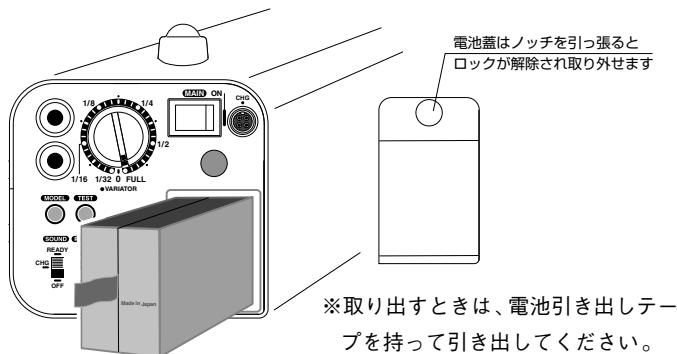
メインスイッチ(MAIN)が「OFF」になっていることを確認してください。

※メインスイッチを「ON」のままで電池を差し込むと、
電池のプラグを損傷します。



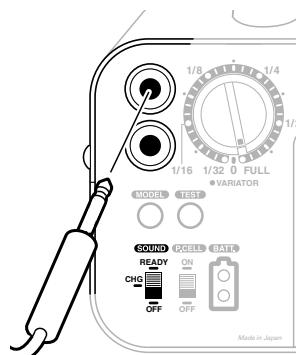
■ 2. ニッケル水素電池の装着

電池カバーを開けて、充電されているニッケル水素電池(LB用)を電源部の入力プラグに合
わせて装着します。装着後、電池カバーを元に戻して下さい。



■ 3. シンクロコードの接続

付属のシンクロコードでシンクロソケットとカメラのシ
ンクロターミナルを接続します。



■ 4. サウンドスイッチモードを選択してください

充電状態を知らせるサウンド(SOUND)が必要なときは、
「充電完了音 = READY」「充電中音 = CHG」のいずれかに
セットします。

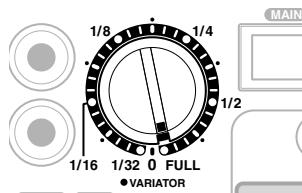
●警報はサウンドスイッチのモードに関係なく鳴ります。

■ 5. 充電の開始

メインスイッチ(MAIN)を「ON」にすると充電がはじまり、数秒後に充電完了ランプが点灯します。

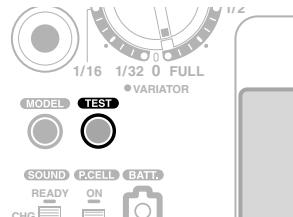
■ 6. 出力の設定

出力バリエーター(VARIATOR)で出力を選択してください。



■ 7. 発光の確認

テスト発光スイッチ(TEST)を押して発光することを確認してください。



■ 8. カメラとのシンクロを確認

シンクロコードでカメラと接続し、カメラでの発光テストをして下さい。

【お願い】

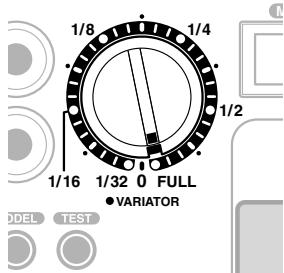
- 本番撮影をされる前に、実際のフィルムまたはインスタントフィルム等で、カメラのシンクロ(同調)テストをお奨めします。
- 「先幕シンクロモード」で撮影する場合、シャッタースピードは1/60秒よりも遅いシャッタースピードでご使用ください。
- 「後幕シンクロモード」で撮影した場合、シャッタースピードとは関係なく写真に露光ムラが生じることがあります。

5 出力バリエーター

出力バリエーター (VARIATOR) は、出力を FULL から 1/32 までを 1/6EV ステップで調光します。

1. 出力バリエーター (VARIATOR) を下げたとき
本機は電圧調光方式を採用しています。このため出力バリエーターを下げても内部のメインコンデンサーに蓄められている電気エネルギーは、直ちに新たな設定出力値まで下がりません。

この場合は、一度空発光してください。充電が完了すると新たな出力値に設定されます。



2. 出力バリエーター (VARIATOR) を上げたとき

設定された出力値まで自動的に充電が行なわれますので、空発光操作の必要はありません。
この場合、レディーランプがいったん消灯し、充電が完了すると再点灯します。

3. 出力バリエーター (VARIATOR) を「0」の位置を選んだとき

充電完了ランプもモデリングランプとともに点灯しません。

発光操作をすると、不発光警報が出ます。

6 サウンドモード

充電の状況をブザー音で知らせます。

■ READY

充電が完了したとき、ブザーが鳴ります。

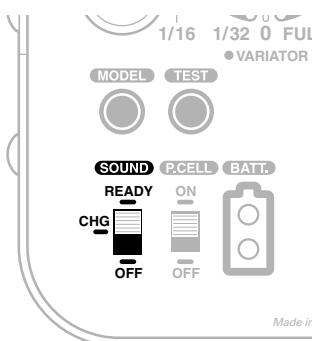
■ CHG

充電中ブザーが鳴り、充電が完了すると止まります。

■ OFF

消音。

●警報はサウンドモードに関係なく鳴ります。

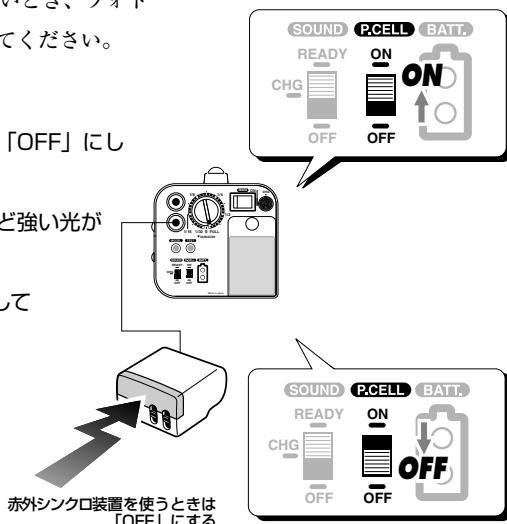


7 フォトセル

他のストロボ光を受けて同調発光したいとき、フォトセルスイッチ(P.CELL)を「ON」にしてください。

【ご注意】

- 赤外シンクロ装置を使うときは必ず「OFF」にしてください。
- フォトセル受光部周辺に直射日光など強い光が当たると作動しないことがあります。
- 同調発光させないときは「OFF」にしてご使用ください。



8 不発光警報

1. 充電完了後の不発光警報について

発光操作をしても、何らかの原因で発光しなかったとき、ブザーが鳴り、充電完了ランプが点滅して不発光を知らせます。

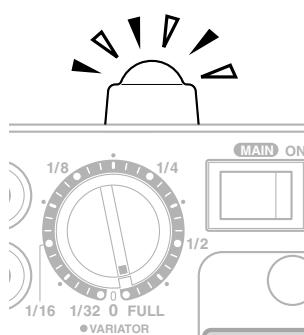
警報の解除はメインスイッチ(MAIN)をいったん「OFF」すると解除されます。

再び、発光操作をしても警報ができるときは、本体の異常が考えられますので、点検をお勧めします。

2. 充電完了前の不発光警報について

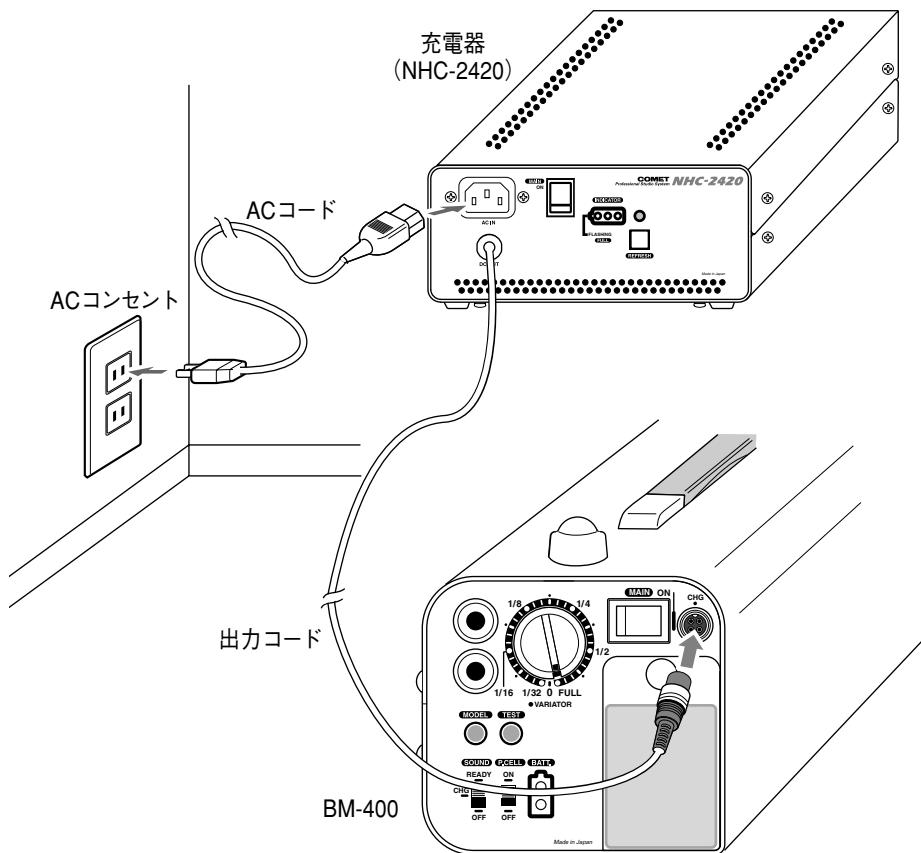
充電完了前に発光操作を行って、発光しなかったときはブザーが鳴り、充電完了ランプが点滅して不発光を知らせますが、充電が完了すると充電完了ランプは点滅から点灯に変わります。ブザーは連続的に鳴ります。

この状態で再度、発光操作をして正常に発光すると警報は解除されます。

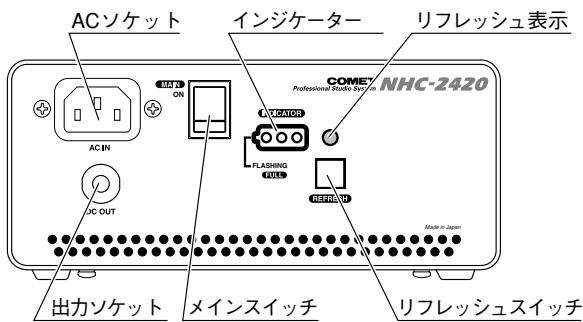


9 充電器／ニッケル水素電池

■ 充電器(NHC-2420)の接続方法と各部の名称



■ 充電器(NHC-2420)



■ 電池の充電方法

1. 充電器のメインスイッチ(MAIN)とBM-400のメインスイッチ(MAIN)が「OFF」になっていることを確認したうえで、充電器とBM-400を出力コードで接続します。
 2. 充電器のACソケットにACコードをしっかりと差し込みます。
次にACコンセントに接続します。
 3. 充電器のメインスイッチ(MAIN)を「ON」にするとインジケーター1灯が点灯し、充電を開始します。
 4. 充電器のインジケーターが3灯点滅すると充電完了です。
充電は約1時間で完了します。
- 電池を本体から取り外して、付属の「LB電池用充電アダプター」に接続して充電することもできます

■ リフレッシュ機能

発光回数がメモリー効果等で所定の回数まで発光しなくなったときに使用します。

<操作方法>

電池の充電方法と同じに一旦、充電を開始します。
その状態でリフレッシュスイッチを押すと、リフレッシュ表示が点灯して、放電を開始します。
電池の電圧が所定の電圧まで下がると放電を停止して、通常の充電を開始します。

<解除方法>

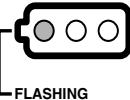
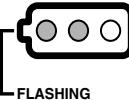
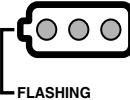
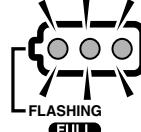
リフレッシュを途中で中止するときは、メインスイッチを「OFF」にしてください。
メインスイッチを「ON」にすると、通常の充電が開始します。



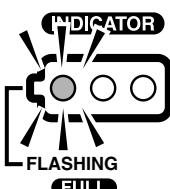
注意

- 満充電の電池をリフレッシュすると数時間かかりますので、極力、電池が空の状態で使用してください。
- 電池を充電する場合、BM-400のメインスイッチを「OFF」にして行ってください。
- 充電しながらのストロボの使用は避けてください。
機器類の故障の原因になります。

■ 充電表示について

1.充電開始	2.充電中	3.充電中	4.充電終了
 FLASHING FULL	 FLASHING FULL	 FLASHING FULL	 FLASHING FULL
電池を接続してメインスイッチを「ON」になると、インジケーターのランプが1個点灯し、充電がはじまります。			
放電した電池は約1時間で充電が完了します。			

ご注意ください



充電表示ランプが1個点滅するときは、次のような場合です。

- ①電池を接続せずにAC電源が投入されている
→直ちに電源を「OFF」にする
- ②電源を連続使用したあとで、内部温度が高い
→温度が下がるのを待つ
- ③出力コード、または充電用コード等が不良
→要修理

■ 専用充電器(NHC-2420)の海外使用時の場合

充電器は、AC100～120V/200～240Vの地域でご使用になれます。



注意

- 海外で使用する場合、使用先の電源コンセントに合った変換プラグをご使用ください。

■ 充電器出力プラグの脱着

充電器の出力プラグをBM-400から抜くときは、プラグのロックリングを持って、抜いてください。

■ 電池の過放電について

電池を過放電(電源を使用状態で長時間放置する等)すると、充電器での電池充電ができないことがあります。

このような場合は、強制充電の操作を行って、充電を開始させます。

※ストロボ使用状態で放置すると、小電力状態になりますが、制御回路は働いていますので、完全なOFF状態になりません。

- 強制充電(電池を過放電したときのみ行ってください)

- 1.電源部及び充電器のメインスイッチ(MAIN)を「OFF」にし、出力コードを接続します。

- 2.充電器のリフレッシュスイッチ (REFRESH) を押したまま、充電器のメインスイッチを「ON」にします。

リフレッシュスイッチはそのまま放さず、約15秒間待ってください。(この間、ブザーが鳴り続けます。)

- 3.約15秒経ちましたらリフレッシュスイッチを放します。強制充電が開始し、約5分間の強制充電の後、ブザーが鳴り、通常充電に移行します。

- 過充電は電池劣化の原因となります。

■ 電池の取扱について

1. 使用温度について

- ・ 使用温度は0°C～45°Cの範囲内で使用してください。

0°C以下や45°C以上では電池容量が少なくなり、所定の発光回数が得られなかったり、性能劣化の原因となることがありますのでご注意ください。

※BM-400を低温環境でご使用になる場合は、事前にテストをして光量測定をしてください。

低温時の場合、所定の性能を発揮しない恐れがありますのでご注意ください。

2. 寒冷地での使用について

- ・ 電池が0°C前後まで冷えると、電池の充電状態に関係なく、ストロボの充電ができないことがあります。このような場合には電池を室温(20～25°C)になるように電池を暖めてください。(カイロなど)

- ・ 電池を暖めるときは、直火にあてたり温湯をかけたりしないでください。感電や故障の原因になります。

3. 充電について

- ・ 充電時の周囲温度は10°C～40°Cの範囲内で行ってください。

特に効率がよいのは、10°C～30°Cです。

- ・ 10°C以下、あるいは40°C以上では充電効率が低下し、充分充電されないばかりでなく、性能劣化や液漏れの原因になることがあります。

4. 保存について

- ・保存温度は-10°C～30度の範囲内で、乾燥した場所を選んでください。
- ・長期にわたる保存は自己放電や電池内部の不活性化により、初回充電では十分に充電されないことがあります。その場合、充放電を繰り返すことにより、特性が回復します。
- ・保存期間が1～3ヶ月以内の場合、電池はFULLまたは放電状態どちらでもかまいません。
- ・保存期間が3ヶ月を越える場合には、放電状態で保存することが理想です。
- ・6ヶ月以上長期保存の場合は、自己放電による性能劣化や液漏れ防止のため、最低3ヶ月に1回は充放電を数回繰り返し行ってください。

5. 電池の発熱について

- ・連続発光したのち、電池が発熱していて充電しない場合があります。これは電池内部に温度センサーを内蔵しているためで、電池の内部温度が所定温度を超えると電池保護のため、回路が切れるようになっています。電池を充電器(NHC-2420)につないで充電開始後、充電器の充電表示ランプが点滅する場合は、いったん充電を止めて、電池の温度が下がるのを待ってください。

6. 長時間の放置について

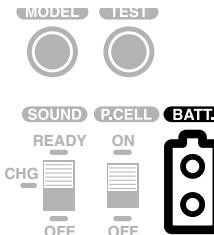
- ・充電した電池を長時間放置しておくと自然放電します。この場合、使用する直前に再度充電を行ってください。

10 電池の残量表示

電池の残量は2個のランプで表示します。

十分に活性化された電池をFULL充電したときは、150回以上(FULL出力時)の発光ができますが、残量表示ランプと発光回数の関係は目安として下記のようになります。

バッテリーインジケーター	発光回数
残量表示ランプ2個点灯時	150～100回以上
残量表示ランプ1個点灯時	100～20回以上
全部消灯後(EMPTY)	数回以上の発光ができます
交互点滅(バッテリー保護)	発光を停止します



上記の発光回数は電池が十分に活性化されているものを使用した場合です。

ご購入時や長期間(1ヶ月以上)使用されなかった場合はFULL充電を行っても所定の発光回数が得られないことがあります。

この場合は数回、リフレッシュと充電を繰り返すことにより回復します。

※電池の端子電圧が規定電圧以下になると、2個の表示ランプが交互に点滅して、ブザーが鳴り、発光を停止します。このような場合は使用を止め、電池を充電してください。



注意

- 電源部が充電完了した後、メインスイッチを一度「OFF」にして、再び「ON」にすると、電池残量表示が「FULL」表示になりますが、故障ではありません。
 - この場合は、一度発光させると正しい表示になります。
- 電池が0°C前後まで冷えると、電池の充電状態とは関係なく、ストロボの充電ができないことがあります。このような場合には電池を室温(20°C～25°C)になるように電池を暖めてください。(カイロなど)
- 電池を暖めるときは、直火にあてたり温湯をかけたりしないでください。感

11 保証とアフターサービス

■保証書と保証期間

添付された保証書に「販売店名・ご購入日」など、所定事項の記載もれがないかをご確認のうえ大切に保存してください。なお、保証期間はご購入日から一年間です。

本製品に、純正部品・純正アクセサリー以外のものを使用することによって生じた故障・事故、および本取扱説明書で明記した注意・禁止された事項をお守りにならざり生じた故障・事故については一切の責任を負いかねます。

また、消耗品類は保証の対象となりません。詳しくは保証書の保証規定をご参照ください。

■保証期間終了後の修理

保証期間後でもご要望により有償で修理いたします。引き続き安心してご使用いただけます。

■アフターサービス

すべてのコメット製品は、厳重に調整・検査して出荷されていますが、万一故障になったときはご購入店または弊社営業所へご連絡ください。

■修理・点検へお出しになる際のご注意

修理・点検にお出しになる際は、ご使用中のA Cコード、シンクロコードをセットにしてご依頼ください。迅速なアフターサービスをさせていただきます。

保証期間中のものは必ず保証書を添付してください。保証期間後のものは保証書に記載されている製品名・型式・ご購入年月日をお知らせください。

また、修理にお出しになる前にA Cプラグが抜けてないか、ヒューズ、ブレーカーが切れていないかをお調べください。

■修理・点検後のご注意

修理伝票は修理完了品に添付しております。

修理内容が明記されておりますので、修理品をお受け取りになる際に確認してください。

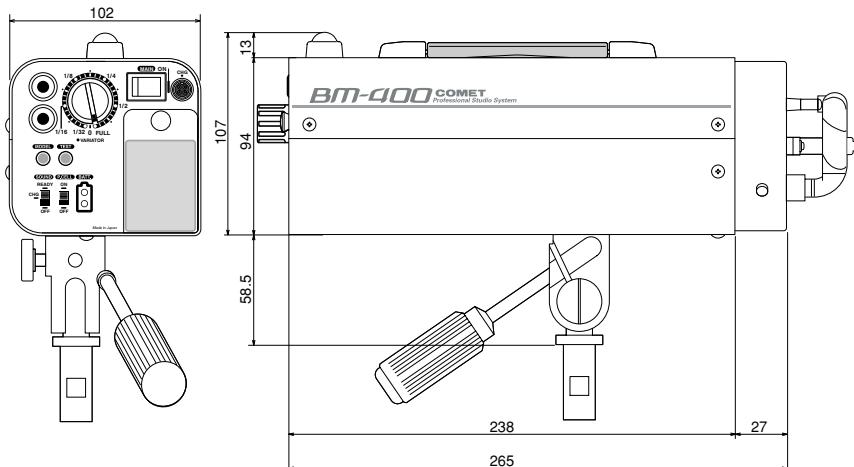
また、修理伝票は次回の修理に必要となることがありますので大切に保存してください。

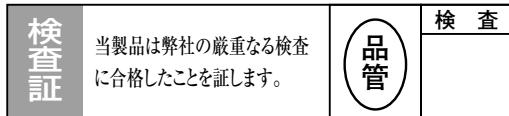
12 仕様

品名	BM-400本体
型式	BM-400
電池	ニッケル水素電池（LB用）
最大出力	400Ws
ストロボ調光方式	電圧調光
ストロボ調光範囲	FULL～1/32 (1/6EVクリックステップ)
出力表示	出力バリエーター目盛
充電時間（秒）	3.5～4秒（フル出力時）
電池残量表示	2個のランプで表示
モデリングランプ定格	24V20W
モデリング点灯モード	モデリングランプスイッチ「ON」で放すと、約6秒間点灯
充電サウンドモード	充電完了音（READY）／充電中音（CHG）／消音（OFF）
シンクロソケット	ホーンジャックタイプ 2個口
シンクロ電圧	DC12V
フォトセル	内蔵（スイッチ付）
不発光警報	充電完了ランプ点滅とブザー連続音
寸法（mm）	265(w) × 107(h) × 102(d) (雲台、キセノン管含みません)
重量（kg）	2.69 (電池含みません) 電池 740 (g)

● 本仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

なお、この仕様は2002年6月現在のものです。





●長年ご使用のストロボ機器の点検をぜひ！

愛情点検	こんな症状はありませんか	このように症状のときは直ちに使用を中止してACプラグをコンセントから抜いて、当社営業所または販売店にご相談ください。
	<ul style="list-style-type: none">●スイッチを入れても所定の時間で充電しない●通電中に異音、異臭、あるいは発煙する●ヒューズがすぐ切れる●ストロボ電源部やヘッドに触るとピリピリと電気を感じる●その他の異常や故障があるとき	

●ストロボ電源部、ヘッドは内部に高電圧を蓄える機器です。誤った操作、または異常を無視して使用すると、使用者の人々への危害、または物的損害を与えることが予測されます。

取扱い説明書の操作方法に従い「警告」「注意」などを守って安全にお使いください。

●上記のような症状がなくても1年に1~2回は点検を受けられるようおすすめします。

アフターサービスについてのご相談は

COMET®

コメット株式会社

本社	〒102-0071 東京都千代田区富士見1-4-6	TEL.(03)3264-8621 FAX.(03)3264-6385
札幌営業所	〒064-0805 札幌市中央区南5条西12丁目	TEL.(011)561-2488 FAX.(011)563-2620
仙台営業所	〒981-8003 仙台市泉区南光台4-29-25 サンエイハイム101	TEL.(022)727-6521 FAX.(022)727-6523
東京営業所 営業課	〒135-0023 東京都江東区平野2-16-20	TEL.(03)5245-3831 FAX.(03)5245-3835
東京営業所 コマーシャル課	〒135-0023 東京都江東区平野2-16-20	TEL.(03)5245-3831 FAX.(03)5245-3835
東京営業所 デジタルイメージング	〒135-0023 東京都江東区平野2-16-20	TEL.(03)5245-3831 FAX.(03)5245-3835
名古屋営業所	〒464-0075 名古屋市千種区内山3-1-1 桜通内山ビル1F	TEL.(052)735-9077 FAX.(052)735-9088
大阪営業所 営業課	〒550-0015 大阪市西区南堀江2-9-22	TEL.(06)6536-0671 FAX.(06)6536-4020
大阪営業所 コマーシャル課	〒550-0015 大阪市西区南堀江2-9-22	TEL.(06)6536-1667 FAX.(06)6536-4020
広島営業所	〒730-0051 広島市中区江波西1-7-16 リラハイツ	TEL.(082)293-0075 FAX.(082)293-0076
福岡営業所	〒812-0042 福岡市博多区豊2-1-4	TEL.(092)411-1209 FAX.(092)411-1209
福岡営業所 コマーシャル課	〒812-0042 福岡市博多区豊2-1-4	TEL.(092)411-1254 FAX.(092)411-1209
一級建築士事務所	〒102-0071 東京都千代田区富士見1-4-6	TEL.(03)3264-8623 FAX.(03)3264-9906
海外事業部	〒102-0071 東京都千代田区富士見1-4-6	TEL.(03)3264-8622 FAX.(03)3264-6385
ストロボクリニック部 本部	〒102-0071 東京都千代田区富士見1-4-6	TEL.(03)3234-5081 FAX.(03)3234-1356
産業機器部	〒102-0071 東京都千代田区富士見1-4-6	TEL.(03)3264-8692 FAX.(03)3264-8624